

公立大学法人富山県立大学学長予定者の選考結果について

公立大学法人富山県立大学学長選考会議は、本年10月1日に「富山県立大学学長候補者の選考について」公示し、候補者の推薦受付期間を10月29日から同月31日までとした。期間中に候補者として推薦があったのは下山 勲氏の1名であり、本日、学長選考会議を開催し、学長予定者を選考した。

学長選考会議においては、公立大学法人富山県立大学学長選考規程第4条に定める選考の基準「人格が高潔で、学識が優れ、かつ、大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者」に照らし、推薦時に提出された学長候補者推薦書、学長候補者履歴書、所信表明書等をもとに、候補者から所信表明を聞き、質疑を行ったうえで、審議を行った。

富山県立大学は、現在、大学間競争が激化する中、工学部の拡充、看護学部の開設など、一層魅力ある大学へと大きく進化しつつある重要な時期にあり、学長には本学のビジョンを示し、学内の力を結集して諸課題に取り組む強いリーダーシップが求められている。

学長選考会議において真摯に審議した結果、下山 勲氏のこれまでの実績と今後の取り組み方針を評価し、本学発展の基盤づくりを行う、この重要な時期において、自ら先頭に立って、リーダーシップを発揮する意思と実行力を有していると判断した。

加えて、富山県立大学では、ロボット工学に関する教育研究を充実するとともに、工学的視点を取り入れた人にやさしい看護学について学ぶこととしており、そこでも下山 勲氏の知見と指導力が発揮され、ロボット工学とその関連分野の教育研究が一層充実し、本学の強みとなることが期待されるものである。

こうしたことから、下山 勲氏を次期学長予定者に決定した。

新たな学長のもと、富山県立大学において教育研究の一層の充実が図られるとともに、地域社会に貢献する大学づくりをさらに推進されることを期待し、ここに学長予定者の決定を報告する。

平成30年11月21日

公立大学法人富山県立大学学長選考会議